

小学校での教科担任制の試行

～今まで以上に分かりやすい授業の実現を目指して～

1 目的

令和2年度(2020年度)から、小学校では新学習指導要領が完全実施され、授業時間数が増加します。また、高学年になるに従い、授業内容に難しさを感じる児童もいることから、今まで以上に分かりやすい授業の展開が必要となります。このため、小学校での教科担任制をモデル校で試行し、その効果を検証することで、児童の学力向上や学校生活の充実を図ってまいります。



2 日時及び場所

令和2年(2020年)度から、勝川小学校、高座小学校、大手小学校の3校をモデル校として実施します。

3 実施内容等

各モデル校において、高学年のクラス数等の状況を判断し、試行する教科を選択して実施します。これにより、教材研究の深化や授業準備の効率化による教科指導の専門性や指導力の向上を図り、より分かりやすい授業を展開することで、児童の学力向上を図ります。また、クラスの児童に関わる教員が担任以外に増えることで、いじめの未然防止や早期の認知も期待できることから、子どもたちが今まで以上にいきいきと充実した学校生活を過ごすとともに、保護者との信頼関係の醸成にも効果が発揮できると考えています。

4 その他

令和元年(2019年)12月に文部科学省から公表された、中央教育審議会初等中等教育分科会の「新しい時代の初等中等教育の在り方 論点取りまとめ」においても、令和4年度を目途に小学校高学年からの教科担任制を本格的に導入すべきとあり、本市としても、次世代を担う子どもたちに、今まで以上に快適な学習環境の確保が必要であるとの観点から、今回先行して試行するものです。